EPSON
EXCEED YOUR VISION

CPS ソフトリッパー Lite2

セットアップガイド

PostScript® ソフトウェアインタープリタ

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、MAXART シリーズ専用の PostScript 3 ソフトウエア RIP です。Adobe 社純正 PostScript 3 によりポストスクリプト出力を行い、高度なデジタルカラーソリューションを実現します。本書をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いいたします。また、本書はなくさないように大切に保管してください。

ライセンス番号

このライセンス番号を紛失されますと、PostScript プリンタとして使用できなくなり、CPS ソフトリッパー Lite2 を再購入していただくことになります。ライセンス番号は別にメモを取るなど、万が一の場合に備えておくことをお勧めします。

シリアルナンバー

Adobe® PostScript® 3™

411793400

© セイコーエプソン株式会社 2009
Printed in XXXXX

マークの意味

!重要 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows XPの画面を使用しています。
- 本書に掲載するMac OS Xの画面は、特に指定がない限りMac OS X v10.5の画面を使用しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
本書では、上記のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OSの表記について

Mac OS X v10.3.9以降
本書では、上記のOS（オペレーティングシステム）を「Mac OS X」と表記しています。

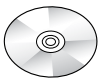
同梱品の確認

箱を開けたら、以下の同梱品がそろっているかを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

■セットアップガイド（本書）

必ずお読みください。本製品をお使いになる際の注意事項および本製品のセットアップ方法が記載されています。

■ CPS ソフトリッパー Lite2 CD-ROM



ソフトウェア本体と電子マニュアル（ユーザーズガイド）が収録されています。本書とともに大切に保管してください。

ユーザーズガイドでは、セットアップ後の本製品の操作や便利な機能を説明しています。収録されているユーザーズガイドは PDF（Portable Document Format）ファイルです。ユーザーズガイドの見方は、以下のページをご覧ください。

☞本書 28 ページ「ユーザーズガイド（PDF マニュアル）の見方」

■ポストスクリプト・ロゴシール

Adobe PostScript の正規ライセンスを登録した PostScript プリンタであることをお知らせするためのシールです。本製品をインストールしたら、このシールをプリンタ本体の正面またははっきりとわかる位置に必ず貼り付けてください。

もくじ

同梱品の確認 1
CPS ソフトリッパー Lite2 の構成 3
プリンタの接続形態 4
クライアントサーバシステム 4
スタンドアロン接続 5
動作環境 6
プリントサーバ / スタンドアロンの動作環境 6
クライアントの動作環境 6
セットアップ前の確認事項 7
プリントサーバ / スタンドアロンのセットアップ 8
インストールの手順 8
EPSON PS Server 起動前の準備 12
EPSON PS Server の起動 15
ライセンス番号の入力 16
クライアントのセットアップ 18
Windows でのインストール方法 18
Mac OS X でのインストール方法 21
ユーザーズガイド（PDF マニュアル）の見方 28
Windows のとき 28
Mac OS X のとき 28

CPS ソフトリッパー Lite2 の構成

本製品には、以下のソフトウェアが収録されています。プリントサーバのコンピュータとクライアントのコンピュータでは、必要となるソフトウェアが異なります。

プリントサーバ / スタンドアロンのコンピュータで使用するソフトウェア
• EPSON PS Server ネットワーク上の複数のコンピュータから 1 台のプリンタを PostScript プリンタとして共用するときに、EPSON PS Server を制御用コンピュータ（プリントサーバ）にインストールします。他のコンピュータからの印刷要求を受けて、印刷データをソフトウェア RIP 処理して、接続しているプリンタで順次印刷できるように制御します。また、EPSON PS Server のメイン画面で印刷ジョブの状態を確認・制御できます。
クライアント / スタンドアロンのコンピュータで使用するソフトウェア
• PostScript プリンタドライバ for PX-XXXX（Windows）・PPD_PX-XXXXXX（Mac OS X） アプリケーションソフトからの印刷指示に従って、印刷データをプリンタで処理できるデータに加工してプリントサーバに送信するソフトウェアです。印刷の向きや割付印刷を行うかなどの印刷条件も設定できます。 • EPSON PS Utility（Windows）・PSFolder_PX-XXXXX_XXXXX（Mac OS X） ホットフォルダ機能を実現するソフトウェアです。 ホットフォルダはフォルダごとに印刷設定を指定し、元となるアプリケーションソフトを起動することなく、ホットフォルダに印刷したいファイルをドラッグ&ドロップするだけで直接印刷できます。 • ScreenFonts_PX-XXXXX_XXXXX（Mac OS X） Mac OS X 用の画面表示用フォントです。

プリンタの接続形態

本製品は、以下のいずれかの接続形態で印刷が行えます。

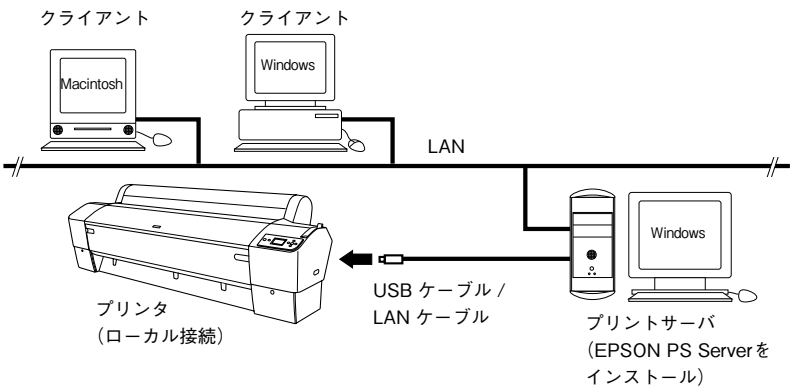
- クライアントサーバシステム
- スタンドアロン接続

どちらの接続形態で使用するかによって、インストールするソフトウェアやセットアップの内容が異なります。

クライアントサーバシステム

ネットワーク上の複数のコンピュータから 1 台のプリンタを共用できます。アプリケーションソフトなどを起動し印刷指示を出すコンピュータをクライアントと呼び、複数のクライアントからの印刷指示を適切に処理し、ソフトウェア RIP 処理を行ってプリンタが順次印刷できるための制御を行うコンピュータをプリントサーバと呼びます。

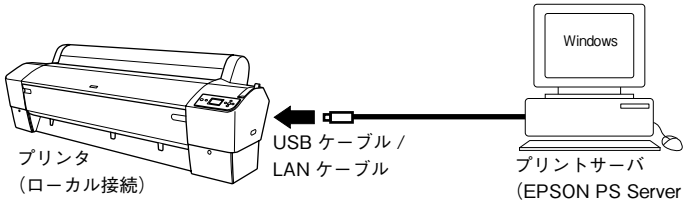
<概念図:図はクライアント 2 台の場合ですが、複数のクライアントを接続できます。>



スタンドアロン接続

コンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続して使用します。プリンタに接続しているコンピュータでアプリケーションソフトなどを起動して印刷指示し、ソフトウェア RIP 処理も行います。

＜概念図：ローカル接続によるスタンドアロン接続＞



プリンタとコンピュータをネットワーク接続している場合でも、EPSON PS Server をインストールしたコンピュータから直接印刷を行うときはスタンドアロン接続です。

動作環境

プリンタの接続形態により、使用できる動作環境が異なります。

プリントサーバ / スタンドアロンの動作環境

対応 OS※	Windows 2000/Windows XP/Windows Vista/Windows 7
CPU	Core 2 Duo 3.05GHz 以上を推奨
メモリー容量	2GB 以上
HDD 空き容量	32GB 以上
クライアントとの通信プロトコル	TCP/IP

※ Windows 2000 Server/Windows Server 2003/Windows Server 2008 には対応していません。32bit 版にのみ対応しています。

!重要

- 頻繁に印刷を行う環境や、スタンドアロン接続で使用するときは、できるだけ高速な CPU を搭載したコンピュータをお使いください。
- EPSON PS Server で印刷を実行するには、お使いになるプリンタに同梱の標準プリンタドライバが必要です。EPSON PS Server をインストールする前に、標準プリンタドライバを必ずインストールしてください。
- 上記対応 OS 搭載の PC/AT 互換機に限り対応しています。
- 市販のプリンタフォントはインストールできません。

クライアントの動作環境

Windows 版	対応 OS※1	Windows 2000/Windows XP/Windows Vista/Windows 7
	CPU	Core 2 Duo 3.05GHz 以上を推奨
	メモリー容量	2GB 以上
	HDD 空き容量	32GB 以上
	プリントサーバとの通信プロトコル	TCP/IP
Mac OS X 版	対応 OS※2	Mac OS X v10.3.9 以降
	CPU	PowerPC G4 1GHz 以上または Intel 社製プロセッサ以上を推奨
	メモリー容量	2GB 以上
	HDD 空き容量	32GB 以上
	プリントサーバとの通信プロトコル	TCP/IP

※1 Windows 2000 Server/Windows Server 2003/Windows Server 2008 には対応していません。32bit 版にのみ対応しています。

※2 Mac OS X Server には対応していません。

セットアップ前の確認事項

実際にセットアップを始める前に、次の点をご確認ください。

■ ウィルスチェックなど他のプログラムを終了していますか？
ウィルスチェックプログラムなどの常駐プログラムをコンピュータにインストールしているときは、プログラムを終了してください。また、インストール時に問題が発生しないように、起動しているすべてのアプリケーションソフトを終了してください。

■ 管理者権限のユーザアカウントでログインしていますか？
インストールを行うには管理者（Administrator）権限が必要です。制限ユーザアカウントではインストールできません。

■ マルチユーザのアカウントが有効になっていませんか？
インストールを行うユーザアカウント以外のユーザアカウントはすべてログオフしてください。

プリントサーバ、スタンドアロンで使用するコンピュータでは、さらに次の点を確認してください。

■ プリンタは印刷可能な状態ですか？
プリンタの動作確認を行ってプリンタが正しく動作していること、プリンタとコンピュータが正しく接続されていること、プリンタが印刷可能な状態になっていることを最初に確認してください。プリンタの動作確認方法については、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

■ 他の CPS ソフトリッパー がインストールされていませんか？
本製品は、1 台のコンピュータに 1 つのみインストール可能です。異なるプリンタ用の複数の CPS ソフトリッパーを 1 台のコンピュータに混在させて使用することはできません。すでに他のプリンタ用の CPS ソフトリッパーがインストールされているコンピュータに本製品をインストールする場合は、既存の CPS ソフトリッパーを先にアンインストールしてください。

■ 動的アドレスになっていませんか？
DHCP 環境でプリントサーバとなる OS に本製品をインストールした場合、IP アドレスが変わってしまうためクライアントから印刷ができなくなってしまいます。プリントサーバとなる OS の IP アドレスは、静的（固定）アドレスに設定してください。

プリントサーバ / スタンドアロンのセットアップ

インストールの手順

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。**

2 **プリンタに同梱されている標準プリンタドライバがインストールされていることを確認します。**
プリンタに同梱されている標準プリンタドライバのセットアップについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

3 **本製品に添付の CD-ROM をセットします。**
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。

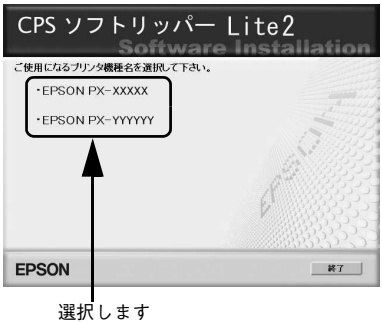
> **参考** インストールの画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] − [CD-ROM] − [epsetup.exe] をダブルクリックしてください。

4 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、[インストール中止] をクリックし、ウィルスチェックプログラムを中止して 3 からやり直します。

5 **使用許諾契約の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。**

6 **アドビシステムズ社の ICC プロファイルインストール画面で内容を確認して [同意する] をクリックします。**

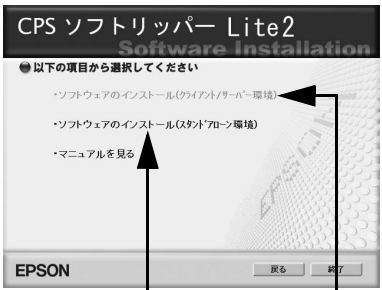
7 **お使いのプリンタの機種を選択します。**



選択します

8 **プリントサーバの場合：[ソフトウェアのインストール(クライアント / サーバー環境)] をクリックします。**

スタンドアロンの場合：[ソフトウェアのインストール(スタンドアローン環境)] をクリックします。

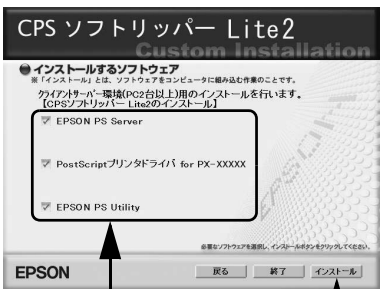


スタンドアロンで使うときにクリックします

プリントサーバにインストールするときにクリックします

9 **インストールするソフトウェアを確認して、[インストール] をクリックします。**

プリントサーバの場合：
EPSON PS Server は必ずインストールしてください。その他のソフトウェアは、必要に応じてインストールしてください。



①確認します

②クリックします

参考

- 標準ドライバがインストールされていないと、以下のメッセージが表示されます。
  [OK] をクリックしてインストールを継続し、インストール終了後に標準ドライバを必ずインストールしてください。標準ドライバがインストールされていないと、EPSON PS Server を起動することはできません。

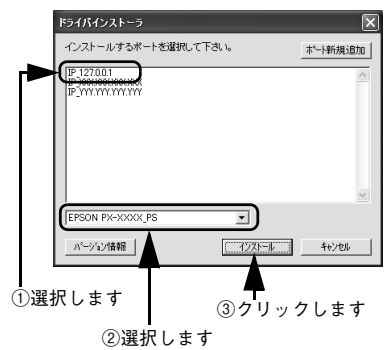
- SNMP ポートを使用していると、警告のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてインストールを継続し、インストール終了後に必ず SNMP ポートを未使用にしてください。

⑩ 画面の指示に従ってインストールを続けます。

⑪ インストール機種の選択画面でお使いの機種名を確認して、[次へ] をクリックします。

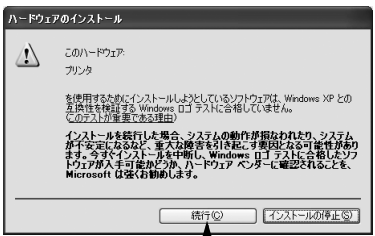
⑫ インストール終了画面で [完了] をクリックします。次にドライバの設定を行います。

⑬ 手順❾で[PostScriptプリンタドライバ] にチェックを入れたときは、右の画面が表示されます。ドライバインストーラ画面のリストから [IP_127.0.0.1] を選択します。左下のプルダウンメニューで PPD ファイル([PX-xxxx_PS] または[PX-xxxx_PS(RGB)])を選択します。[インストール] をクリックします。



参考

- 2種類のPPDファイル(CMYK用/RGB用)を用意しています。
  - 通常はCMYK用のPPDファイルを選択します(RGB用の PPD ファイルでは機能が限定されます)。
  - RGB用のPPDファイルは、プリンタに同梱の標準プリンタドライバ（EPSON 基準色 sRGB）と同様の色合いで RGB データを PostScript 印刷したいときに選択します。RGB 用 PPD ファイルの詳細は『ユーザーズガイド』をご覧ください。
- 下記の画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてインストール作業を続けてください。



クリックします

14 **画面の指示に従って作業を続行します。**

15 **インストール完了画面が表示されたら［終了］をクリックします。**
インストール終了後は、本製品の CD-ROM に収録されている readme.txt を必ずお読みください。

EPSON PS Server 起動前の準備

EPSON PS Server を起動する前に、以下の 2 点の設定変更を行います。

- スリープ機能の停止
  EPSON PS Server をインストールしたコンピュータがスリープすると、EPSON PS Server が正常に動作せずに印刷できないことがあります。以降の「スリープ機能の停止方法」をご覧になり、スリープ状態にならないように設定します。
- Windows ファイアウォールの例外に設定する
  以降の「Windows ファイアウォールの例外設定の方法」をご覧になり、EPSON PS Server をファイアウォールの例外対象に設定します。
  市販のファイアウォールソフトをお使いのときは、お使いのファイアウォールソフトに添付の取扱説明書をご覧になり、EPSON PS Server をファイアウォールの例外対象に設定してください。

スリープ機能の停止方法

1 ［電源オプション］ダイアログを表示させます。

Windows XP のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。

Windows Vista のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。

Windows 7 のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［コンピューターがスリープ状態になる時間を変更］の順にクリックします。

Windows 2000 のとき：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックして［電源オプション］をダブルクリックします。

2 **スリープの設定を無効にします。**

Windows XP/Windows 2000 のとき：
［電源設定］タブをクリックし、［電源設定］で［常にオン］を選択して、［OK］をクリックします。

Windows Vista のとき：
［お気に入りのプラン］から任意のプランを選択し、［プラン設定の変更］をクリックします。［コンピュータをスリープ状態にする］を［なし］に設定し、［変更の保存］をクリックします。

Windows 7 のとき：
［コンピューターをスリープ状態にする：］のプルダウンメニューから［なし］を選択して、［変更の保存］をクリックします。

Windows ファイアウォールの例外設定の方法

1 **［Windows ファイアウォール］ダイアログを表示させます。**

Windows XP のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［セキュリティセンター］－［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。

Windows Vista のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順にクリックします。［ユーザーアカウント制御］画面が表示されますので、［続行］をクリックします。

Windows 7 のとき：
［スタート］－［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順にクリックします。

2 Windows XP/Windows Vista のとき：
［例外］タブをクリックします。

Windows 7 のとき：
手順 3 に進みます。

クリックします

3 Windows XP/Windows Vista のとき：
［プログラムの追加］をクリックします。

Windows 7 のとき：
［別のプログラムの許可］をクリックします。

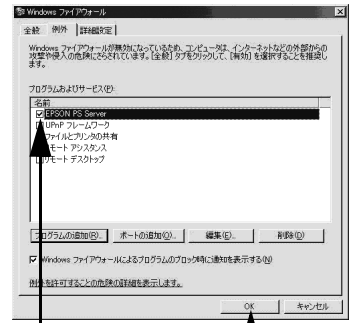
クリックします

4 Windows XP/Windows Vista のとき：
［EPSON PS Server］を選択して［OK］をクリックします。

Windows 7 のとき：
［EPSON PS Server］を選択して［追加］をクリックします。

①選択します
②クリックします

5 **［EPSON PS Server］が登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。**



①確認します

②クリックします

EPSON PS Server の起動

EPSON PS Server を起動する前に、次の点をご確認ください。

- 管理権限を持つユーザ（Administrator）に限り起動できます。
- SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバ / LPR サーバのサービスを終了してください。
  これらのアプリケーションやサーバが動作しているコンピュータでは、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。終了方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

参考

- 印刷の前には、必ずEPSON PS Serverを起動してください。
- スタンドアロン接続で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のショートカットを作成して、デスクトップ上などに置いておくと便利です。

1 **プリンタの電源を入れます。**

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源を入れます。

2 **EPSON PS Server を起動します。**

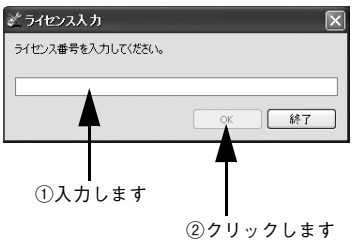
［スタート］－［すべてのプログラム］－［EPSON］－［CPS ソフトリッパー Lite2］－［EPSON PS Server］の順にクリックします。

EPSON PS Server を初めて起動したときは、引き続きダイアログが表示されます。次の「ライセンス番号の入力」をご覧になり、プリンタの機種名の選択とライセンス番号の入力を行ってください。

ライセンス番号の入力

> **参考**
> - ライセンス番号は、本書の表紙に記載されています。
> - 2回目の起動からは、プリンタの選択やライセンス番号の入力は必要ありません。
> - プリンタを接続するインターフェイスを後で変更した場合は、起動時にプリンタを再選択する必要があります。

1 **ライセンス番号を入力して［OK］をクリックします。**
本書の表紙にあるライセンス番号を、そのまま入力します。



2 **使用するプリンタの機種名を、リストから選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**
［OK］をクリックすると、EPSON PS Server が起動します。

> **参考**
> プリンタの再選択を行う場合は、以前選択されていたプリンタであることを確認してください。

4 **添付のポストスクリプト・ロゴシールを、プリンタ本体（正面または はっきりとわかる位置）に貼ります。**

> **参考** Adobe PostScript の正規ライセンスを登録された PostScript プリンタであることを識別するために、必ずシールを貼り付けてください。

クライアントのセットアップ

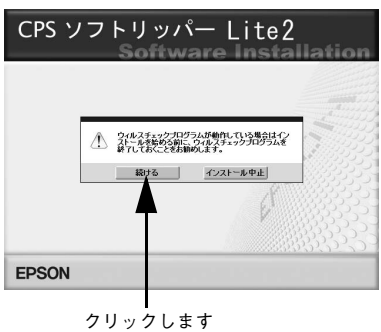
Windows でのインストール方法

❶ **コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。**

❷ **本製品に添付の CD-ROM をセットします。**
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。

> **参考** インストールの画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

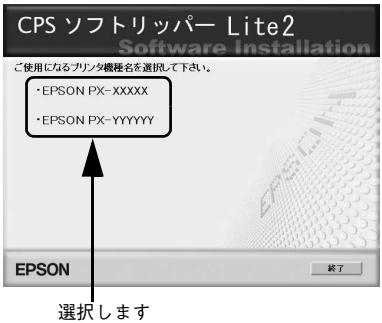
❸ **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを中止して ❷ からやり直します。



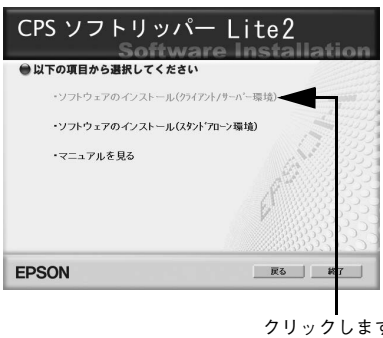
❹ **使用許諾契約の画面で内容を確認して、［同意する］をクリックします。**

❺ **アドビシステムズ社の ICC プロファイルインストール画面で内容を確認して［同意する］をクリックします。**

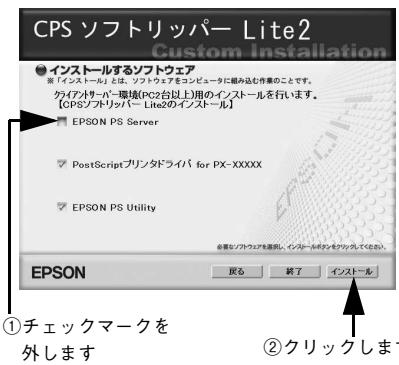
6 **お使いのプリンタの機種を選択します。**



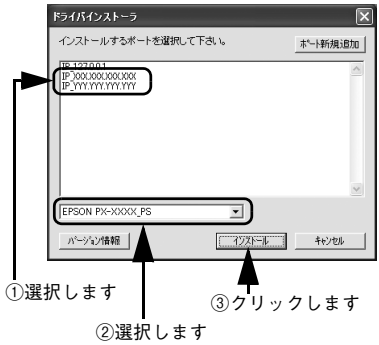
7 **［ソフトウェアのインストール(クライアント / サーバー環境)］をクリックします。**



8 **[EPSON PS Server]のチェックマークを外して［インストール］をクリックします。**
[PostScript プリンタドライバ]、[EPSON PS Utility] にはチェックが入っていることを確認します。

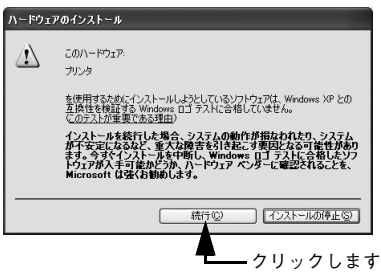


9 リストから、EPSON PS Server をインストールしたコンピュータの IP アドレスをポートとして選択します。左下のプルダウンメニューで PPD ファイル（[PX-xxxx_PS] または [PX-xxxx_PS (RGB)]）を選択します。［インストール］をクリックします。



参考

- リストにポートがないときは、［ポート新規追加］をクリックし、EPSON PS Server をインストールしたコンピュータの IP アドレスを設定してポートを作成します。
- 2種類の PPD ファイル（CMYK 用 /RGB 用）を用意しています。
  - 通常は CMYK 用の PPD ファイルを選択します（RGB 用の PPD ファイルでは機能が限定されます）。
  - RGB 用の PPD ファイルは、プリンタに同梱の標準プリンタドライバ（EPSON 基準色 sRGB）と同様の色合いで RGB データを PostScript 印刷したいときに選択します。RGB 用 PPD ファイルの詳細は『ユーザーズガイド』をご覧ください。
- 下記の画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてインストール作業を続けてください。



10 画面の指示に従って作業を続行します。

⑪ **インストール完了画面が表示されたら［終了］をクリックします。**

⑫ **［プリンタと FAX］（Windows XP/Windows 2000）/［デバイスとプリンタ］（Windows 7/Windows Vista）ダイアログを表示させて、PS プリンタアイコンが表示されているか確認します。（インストール時に付けた名前で表示されます。初期設定では「EPSON プリンタ名 PS」という名前になります）。**
プリンタアイコンが確認できたら、お使いのアプリケーションソフトからその PS プリンタを選択して印刷できます。

> **参考** プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと混同しないよう使い分けて使用してください。（PS ドライバの名称を変更されている場合、特にご注意ください。）

Mac OS X でのインストール方法

インストールの方法

① **コンピュータの電源を入れて、Mac OS X を起動します。**
必ず管理者権限を持つユーザーで起動してください。

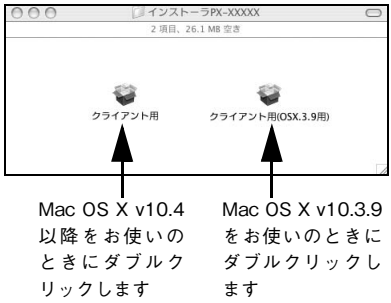
② **本製品に添付の CD-ROM をセットします。**

③ **CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。**

> **参考** CD-ROM のウィンドウが開きますので、［はじめにお読みください］アイコンをダブルクリックして、必ずお読みください。

④ **お使いの機種名のフォルダをダブルクリックします。**

5 **インストーラを起動します。**
お使いのOSバージョンに対応したアイコンをダブルクリックします。



6 **［続ける］をクリックしてインストール作業を進めます。**

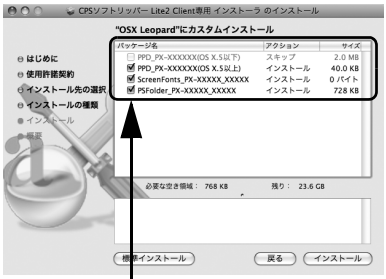
7 **使用許諾契約の画面で［続ける］をクリックして、［同意します］をクリックします。**

8 **インストール先のディスクを選択し、［続ける］をクリックします。**

9 **［カスタマイズ］をクリックします。**

⑩ インストーラ画面の内容を確かめます。

表示された画面で、使用するソフトウェアにチェックマークを付けます。



選択します

⑪ ［インストール］をクリックします。

⑫ Mac OS X にログインしているユーザーのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

⑬ 右の画面が表示されたら、［閉じる］をクリックします。

クリックします

プリンタの追加

印刷を始める前に、プリンタを追加します。Mac OS X のバージョンにより、手順が若干異なります。

> **参考**
> - サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。
> ☞ 本書 12 ページ「EPSON PS Server 起動前の準備」
> - プリンタの追加は 1 度行えば、印刷のたびに以下の手順を繰り返す必要はありません。

1 **Mac OS X v10.6/v10.5 のとき：**
アップルメニューで［システム環境設定］をクリックします。

Mac OS X v10.4/v10.3 のとき：
［アプリケーション］フォルダにある［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

2 **Mac OS X v10.6/v10.5のとき：**
［プリントとファクス］をクリックします。

Mac OS X v10.4/v10.3のとき：
［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

3 Mac OS X v10.6/v10.5のとき：右の画面が表示されます。[+] をクリックします。

Mac OS X v10.4/v10.3のとき：[追加] をクリックします。

クリックします

4 Mac OS X v10.6/v10.5のとき：画面上部の [IP] をクリックします。
[プロトコル] は [LPD（Line Printer Daemon）] が選択されたままにしてください。

Mac OS X v10.3/v10.4のとき：画面の上にある [IP プリンタ] アイコン（Mac OS X v10.3 ではリストをクリックして [IP プリント]）をクリックします。

クリックします

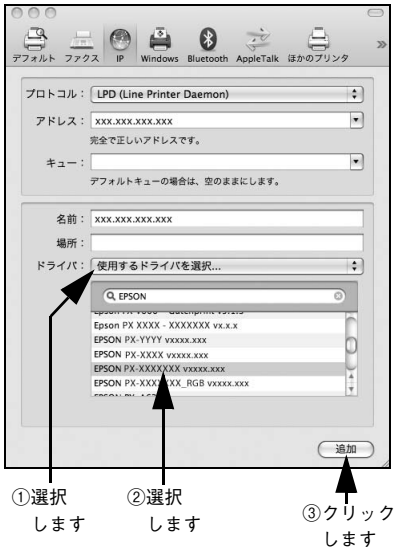
5 **Mac OS X v10.6/v10.5のとき：[アドレス] にプリントサーバのIPアドレスを入力します。**

Mac OS X v10.4/v10.3のとき：[プリンタのアドレス] / [アドレス]（Mac OS X v10.4）にプリントサーバのIPアドレスを入力します。

Mac OS X v10.3 のときは [プリンタのタイプ] から [LPD/LPR] を選択します。Mac OS X v10.4 のときは [プロトコル] から [LPD(Line Printer Daemon)] を選択します。

6 **Mac OS X v10.6/v10.5のとき：**
［ドライバ］で、使用する PPD ファイルに応じたプリンタ名を選択して、［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.4/v10.3のとき：
プリンタを追加します。
Mac OS X v10.3のときは、［プリンタの機種］で大文字、小文字に注意して必ず［Epson］を選択し、［機種名］で使用する PPD ファイルに応じたプリンタ名を選択して、［追加］をクリックします。



Mac OS X v10.4 のときは、［使用するドライバ］で使用する PPD ファイルに応じたプリンタ名を選択して、［追加］をクリックします。

参考
2種類の PPD ファイル（CMYK 用 /RGB 用）を用意しています。
- 通常はCMYK用のPPDファイルを選択します(RGB用のPPD ファイルでは機能が限定されます)。
- RGB用のPPDファイルは、プリンタに同梱の標準プリンタドライバ（EPSON 基準色 sRGB）と同様の色合いで RGB データを PostScript 印刷したいときに選択します。RGB 用 PPD ファイルの詳細は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

7 **Mac OS X v10.4/v10.3 のみ：**
［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］/［プリントセンターを終了］を選択して、プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを閉じます。
以上で、印刷前の準備は終了です。お使いのアプリケーションソフトから標準的な手順に従って印刷できます。

ユーザーズガイド（PDF マニュアル）の見方

本製品の CD-ROM に収録されている『ユーザーズガイド（PDF マニュアル）』をご覧いただくには、Adobe 社の Acrobat Reader 4.0 以上または Adobe Reader が必要です。
本製品の CD-ROM からお使いのコンピュータに『ユーザーズガイド』ファイルをコピーしておくと、CD-ROM をセットせずにいつでもご覧いただくことができます。

参考

- 最新版の Adobe Reader はアドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます。
- 確認したいページのしおり（PDF ファイル内左側のタイトル一覧）をクリックすると、そのページを表示します。
- 「もくじ」のタイトルや本文中の参照ページをクリックすると、そのページ（各 PDF ファイル内のみ）へジャンプします。
- 『ユーザーズガイド』は1ページA5サイズの設定でレイアウトされています。A4 サイズの用紙に 2 面割り付けをすることで見やすいサイズで印刷することができます。
- EPSON PS Server のヘルプメニューから『ユーザーズガイド』をご覧いただくこともできます。

Windows のとき

1. 本製品の CD-ROM をセットします。
2. 画面の指示に従って進み、［マニュアルを見る］をクリックします。

Mac OS X のとき

1. 本製品の CD-ROM をセットします。
2. CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
3. ［マニュアル＆ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。
4. ［PDF マニュアル］フォルダをダブルクリックします。
5. ［ユーザーズガイド］をダブルクリックします。

商標

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。
本書に記載したその他の製品名は、その所有者の登録商標または商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 （祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 （祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDIダイレクト を利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ **http://myepson.jp/** ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求め下さい。（2009年7月現在）

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5